

<取材のご案内>

3 年ぶりのオールナイト復活！
「六本木アートナイト 2026」メディア内覧会 & キックオフセレモニーのご案内
見どころ紹介に加え、高さ 10 メートル超の巨大段ボール建築アートの制作現場をご案内、
「RAN Focus」フランスアーティストのパフォーマンスも一足先に公開！

日時：2026 年 10 月 31 日(土)14:45～(受付開始 14:15～)
場所：六本木ヒルズ・六本木西公園・六本木ヒルズアリーナほか

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

六本木の街を舞台にしたアートの祭典「六本木アートナイト 2026」が、10 月 31 日(土)17:00 から 11 月 1 日(日)6:00 にかけて開催されます。15 回目を迎える今年は、日没から夜明けまで街全体でアートを満喫できるオールナイト開催が 3 年ぶりに復活します。

本祭では、フランスのアートに光を当てる「RAN Focus」をはじめ、世界各国の気鋭アーティスト約 40 組が集結し、六本木の街を舞台に、美術館、大型複合施設、商店街、公共スペースなどで、約 60 の多彩なアートプログラム(現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンス)を展開します。

一般公開(17:00 コアタイムスタート)に先立ち、メディアの皆様には今年の見どころや注目作品の制作現場、そして登壇者・アーティストが一堂に会する式典をいち早く取材・撮影していただける「メディア内覧会およびキックオフセレモニー」を 10 月 31 日(土)に 2 部制にて開催いたします。

当日は、本祭のプログラム企画アドバイザー・武村 俊による今年の見どころ解説をはじめ、一般市民や子どもたちとともに高さ 10 メートル超の巨大段ボール建築を立ち上げるオリヴィエ・グロステット氏の制作現場を公開、さらにヨアン・ブルジョワ・アートカンパニーによるスペシャルパフォーマンスもご覧いただけます。

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上、ご取材賜りますようお願い申し上げます。

開催概要

日時：2026 年 10 月 31 日(土)14:45～(受付開始 14:15～)

集合場所：六本木ヒルズ内 特設プレス受付(※詳細位置は参加確定後にご案内いたします)

内容：14:15～ メディア受付

14:45～ **<第 1 部> メディア内覧会**

プログラム企画アドバイザー・武村 俊による今年のアートナイトの見どころ解説

15:35～ 制作現場視察(オリヴィエ・グロステット《みんなでつくる巨大段ボール建築》)

16:30～ **<第 2 部> キックオフセレモニー**

-主催挨拶

六本木アートナイト実行委員長 片岡 真実(森美術館館長)

東京都代表者(予定)

港区長 清家 あい

-来賓ご挨拶

駐日フランス大使 ベアトリス・ル・フラペール・デュ・エレン

-アーティスト紹介

-キックオフ宣言

-オープニングアクト「ヨアン・ブルジョワ・アートカンパニー」スペシャルパフォーマンス

17:03 キックオフセレモニー終了、以降自由内覧

※撮影場所取りは受付先着順とさせていただきます。

※キックオフセレモニー登壇者及びアーティストへの個別取材希望の場合は、申請フォームより事前お申し込みいただきますようお願いいたします。

※進行の都合上、予告無く当日の内容・スケジュールを変更させていただく可能性があります。ご了承ください。

<本件に関するお問い合わせ>

六本木アートナイト PR 事務局(サニーサイドアップ内)

担当：酒井、岩崎、清田

TEL: 03-6894-3200 FAX: 03-5413-3050 E-mail: roppongiartnight_pr@ssu.co.jp

出欠ご返信用紙

※10月30日(金)17:00までに必要事項を申請フォームにて送信、
またはお申込用紙をFAXにてお送りください。

FAX: 03-5413-3050

申請フォーム: <https://forms.gle/wgBG7kdkWuUn5R3RA>

開催概要

3年ぶりのオールナイト復活！

「六本木アートナイト 2026」メディア内覧会 & キックオフセレモニーのご案内
見どころ紹介に加え、高さ10メートル超の巨大段ボール建築アートの制作現場をご案内、
「RAN Focus」フランスアーティストのパフォーマンスも一足先に公開！

日時: 2026年10月31日(土)14:45～(受付開始 14:15～)

場所: 六本木ヒルズ・六本木西公園・六本木ヒルズアリーナほか

☐ 第1部 ☐ 第2部 ☐ 自由内覧 ☐ ご欠席

※複数ご参加される場合には両方にチェックしてください。

撮影の有無	スチール / ムービー / 撮影なし
貴社名	
貴媒体名	部署名
ご芳名(代表者)	計 名様
緊急連絡先	TEL / E-MAIL
OA/ご掲載予定日	月 日 (備考:)
備考欄	

※キックオフセレモニー登壇者およびアーティストの個別取材ご希望の方は備考欄への記載をお願いします。ご希望に添えない可能性もございますのでご了承くださいませと幸いです。

■主な会場

六本木ヒルズ

(住所: 〒106-6108 東京都港区六本木 6-10-1)

■アクセス

- 東京メトロ 日比谷線六本木駅 1c 出口より徒歩 3 分
- 都営地下鉄 大江戸線六本木駅 3 出口より徒歩 6 分
- 都営地下鉄 大江戸線麻布十番駅 7 出口より徒歩 9 分
- 東京メトロ 南北線麻布十番駅 4 出口より徒歩 12 分
- 東京メトロ 千代田線乃木坂駅 5 出口より徒歩 10 分

<本件に関するお問い合わせ>

六本木アートナイト PR 事務局(サニーサイドアップ内)

担当: 酒井、岩崎、清田

TEL: 03-6894-3200 FAX: 03-5413-3050 E-mail: roppongiartnight_pr@ssu.co.jp

<参考資料>

■制作現場視察

オリヴィエ・グロステット

《みんなでつくる巨大段ボール建築》

建築的要素と参加型のアプローチを融合させた、壮大で型破りなアートプロジェクト。子どもから大人、シニア世代まで、年齢やバックグラウンドを問わず、さまざまな人々が参加できます。制作に使用するのは、段ボール箱と粘着テープのみ。日本の建築に着想を得た構造物を、クレーンや重機などの機械は一切使わず、人々の共同作業によって立ち上げていきます。完成する作品は、高さ10メートルを超えます!!

六本木アートナイト 2026 では、増上寺「三解脱門」の再現に挑戦します。

インスタレーション



オリヴィエ・グロステット(Olivier Grossetête)

1973年パリ生まれ。日常に詩性や夢をもたらし、社会や物理の法則を問い直す作品を手がけています。行政文書を用いたコラージュや「詩的オブジェクト」の制作をはじめ、段ボールによる巨大建築プロジェクトを展開。世界5大陸で300以上の建造物を地域住民と協働制作し、建築の象徴性や人と人とのつながり、世界との関係性を探究しています。

■キックオフセレモニー オープニングアクト

ヨアン・ブルジョワ・アートカンパニー

芸術監督および振付:ヨアン・ブルジョワ、出演:アンナ・バーガー 《オープニング(Opening)》

フィリップ・グラスの楽曲『Opening』の運動性に着想を得たこの作品は、どこにも辿り着かない階段を用い、上昇と下降を繰り返しながら、人間の存在における軌跡をシンプルかつ力強く表現しています。そこでは、可逆性をめぐる遊びによって、時間のクロノロジーが破綻させられます。

見えない隔たりの上で、ある登場人物が虚無をすり抜け、重力と無重力の法則を巧みに操りながら、平衡と不平衡の狭間にある「自由の境地」へと到達しようと試みます。

この視覚的詩編の中心となるのは、「宙吊りの点」へと向かう、心を揺さぶるような眩暈を誘う進行です。それは、身体が到達しうる最高点まで登り詰め、しかしまだ回避不能な落下が始まってはいない、あの精密で儚い一瞬のことなのです。

パフォーマンス



© Pascale Cholette

芸術監督および振付:ヨアン・ブルジョワ(Yoann Bourgeois)

出演:アンナ・バーガー(Anna Berger)

ヨアン・ブルジョワは、異なる芸術的アプローチの境界線を打ち破ることに挑み続けています。

彼の独自のメソッドは、唯一無二の現象を際立たせる物理的な「通路」として具現化され、それが彼を膨大なバリエーションの空間構想や、無限に広がる動きの変化へと突き動かしています。彼の作品世界は、生涯をかけて留まることなく続けられる創造プロセスの結実であり、彼はそれを「到達不能なサスペンション・ポイント」という言葉で表現しています。

数々の著名な振付家との共演を経て、ブルジョワは2010年に自身のカンパニーを設立しました。2016年から2022年にかけてはグルノーブル国立振付センター(CCN2)の芸術監督を務め、フランスに19ある国立振付センター(CCN)のトップにサーカス・アーティストとして初めてディレクターに就任。

徹底してマルチディシプリナリー(多角的なジャンルを融合させる)で、身体的かつ革新的な表現を追求するブルジョワは、世界各地でパフォーマンスやコラボレーション、ワークショップを手がけています。彼の作品は、周囲の環境が持つエネルギーや固有の特性を活かした、その土地ならではのサイト・スペシフィックな創作に基づいています。